

DLd 療法(3～6 クール)

ID

患者名

体重

kg

初回 ・ 継続 (前回 /)

★体表面積不要

印

印

血液内科

多発性骨髄腫

★投与量

計算値

ダラキューロ	1800mg/body	mg	皮下注	Day1、15
レブラミド 5mg	25mg	mg	内服	Day1～21
レナデックス錠 4mg	20mg/body	mg	内服	Day1、2、8、15、16、22
カロナール錠 300mg	650－1000mg/body	mg	内服	Day1、15
レスタミン錠 10mg	25－50mg	mg	内服	Day1、15

★ 点滴スケジュール

投与 1～3 時間前	ダラキューロ
レナデックス 5 錠	
カロナール 3 錠	
レスタミン 3 錠	

★ 投与スケジュール

●1クール:28 日

次回

/

処方用量

ダラザレックス	mg	↓					↓						
レブラミド	mg												
レナデックス	mg	↓	↓		↓		↓	↓			↓		
カロナール	mg	↓					↓						
レスタミン	mg	↓					↓						
		1	2		8		15	16		21	22		
(投与日)		/			/					/			

↓ デキサメタゾン 40mg

★ 注意事項

・投与時に infusion reaction に注意する必要あり、プレメディ(解熱鎮痛薬・抗ヒスタミン薬・ステロイドなど)を行う。抗ロイコトリエン薬の追加併用が良いとのデータがある。

特有の症状として呼吸器症状(鼻閉・喘鳴・呼吸困難など)が起きやすい。

投与開始後約 3-4 時間で生じやすい。

・グレード 3, 4 の副作用として好中球減少症がおきやすい。

・レブラミドは病状・毒性によって減量する事がある。

・ダラキューロ投与前 1-3 時間に以下の前投与を行う。

・デキサメタゾン 20mg または同等品

・アセトアミノフェン 650-1000mg を経口投与

・ジフェンヒドラミン 25-50mg または同等品を経口投与

・レブラミドは腎機能に応じて 10-25mg で調節

・レナデックスも糖尿病の際は 12mg へ減量あり